

報道機関の皆さんへお知らせ

配付年月日	令和6年(2024年) 1月23日(火)	連絡先	商工労働観光課(担当者:志村) TEL(ダイヤル) 0138-47-9461
標 題	ATWS2023 渡島地域報告セミナーの開催について		
日 時	令和6年(2023年)2月6日(火) 14:00~17:00		
場 所	函館コミュニティプラザ Gスクエア イベントホール AB (函館市本町 10-8 シエスタハコダテ 4階)		
内 容	<p>渡島総合振興局では「アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道・日本(ATWS2023)」の開催を受け、渡島地域における大会の開催内容の共有等を目的としたセミナーを開催いたします。</p> <p>本大会において、渡島管内で報道を伴わずに実施された2つのプレサミットアドベンチャー(PSA)のガイドや、大会の企画運営などそれぞれの立場からの各ツアーについての報告や意見交換を通し、今後の渡島地域におけるATの展望や活用についてのポイントを考えてまいります。</p> <p>日時: 令和6年(2024年)2月6日(火) 14:00~15:00 ※受付開始 13:30~ 場所: 函館コミュニティプラザ Gスクエア イベントホール AB (函館市本町 10-8 シエスタハコダテ 4階) 内容: 別添チラシのとおり</p> <p>本件につきまして、積極的に取材をいただきますようお願い致します。</p>		
取材に当たってのお願い	・当日の取材を希望される場合は、事前に下記URLの登録フォームより参加申請をお願い致します。 URL: https://www.harp.lg.jp/TSNZzHEh		

ATWS2023

渡島地域報告セミナー



渡島総合振興局では「アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道・日本(ATWS2023)」の開催を受け、渡島地域における大会の開催内容の共有等を目的としたセミナーを開催いたします。渡島管内で実施された2つのプレサミットアドベンチャー（PSA）のガイドや、大会の企画運営などそれぞれの立場からの報告や意見交換を通し、今後の渡島地域におけるATの展望や活用についてのポイントを考えてまいります。

日時：2024年2月6日（火） 14:00~17:00

※開場・受付13:30~

**会場：函館コミュニティプラザ Gスクエア
イベントホールAB
(函館市本町10-8 シェスタハコダテ4階)**

定員：会場参加 50名様 (先着順)

**参加費：無料 要事前申込
(申込方法は裏面をご参照ください)**

主催：北海道渡島総合振興局



◆プログラム

講演
1

地域のATの活用、ATWSについて

元(公社)北海道観光振興機構ATWS準備室担当部長
株北海道宝島旅行社執行役員

菊地 敏孝 氏

講演
2

PSA-07
日本文化伝承の北前船、道南の要所を
巡るサイクリングツアー

全国通訳案内士
道南サイクルツーリズム推進協議会事務局長

市根井 恵子 氏
長沼 孝征 氏

講演
3

PSA-09
火山が造った箱庭・大沼カヌーツーリ
ング ～カヌー&農山漁村交流4日間～

元(公社)北海道観光振興機構ATWS準備室担当部長
株北海道宝島旅行社執行役員
イクサンダー大沼カヌーハウス代表

菊地 敏孝 氏
渡辺 邦浩 氏

パネルディスカッション
道南地域におけるATの展望について

元(公社)北海道観光振興機構ATWS準備室担当部長
株北海道宝島旅行社執行役員
全国通訳案内士
道南サイクルツーリズム推進協議会事務局長
イクサンダー大沼カヌーハウス代表

菊地 敏孝 氏
市根井 恵子 氏
長沼 孝征 氏
渡辺 邦浩 氏

◆講師紹介



元(公社)北海道観光振興機構
ATWS準備室担当部長
株北海道宝島旅行社執行役員

菊地 敏孝 氏



全国通訳案内士

市根井 恵子 氏



道南サイクルツーリズム
推進協議会事務局長

長沼 孝征 氏



イクサンダー大沼カヌーハウス
代表

渡辺 邦浩 氏

1971年函館生まれ。大手旅行会社にて、法人及び個人グループへの企画営業を担当し、添乗では各地をまわり地域を学ぶ。退職後、飲食、再就職支援、温浴、観光振興分野の運営責任者を各社で歴任し、北海道新幹線開業に伴い道南観光圏の観光地域づくりに従事。2015年4月株北海道宝島旅行差に入社。2020年3月に同社から(公社)北海道観光振興機構AT推進部へ出向。ATWS2021・2023の企画運営に携わったのち、2023年10月に帰任。

函館市出身。高校卒業後、銀行勤務の傍ら個人英語塾を開き、その後高校で24年間教鞭をとる。その間、教育修士号を取り、フルブライト奨学生としてイリノイ大学で学んだ。2013年からは翻訳や案内通訳、ガイド業を中心に活動し、FIT・FAM、富裕層対象の長期ツアーやクルーズ客船のレクチャーとしての仕事なども多く経験する。函館善意通訳会顧問及び函館日米協会理事。資格として全国通訳案内士、旅程管理主任者、野の上級救急救命士など。

函館大学職員時代、健康のために始めた自転車通勤をきっかけに自転車に没頭する。大学の自転車部顧問として活動する傍ら、レース等に参加する中でサイクルツーリズムと出会う。道南サイクルツーリズム推進協議会や先進地のガイドツアー参加で経験を積み、JCTA認定ガイドを取得。現在は林野庁北海道森林管理局に入庁。函館から配属先の厚沢部町まで片道60kmを自転車通勤するなど日々自転車に触れ続け、昨年は自身最長距離である600kmを走破。

東京商船大学卒業後、青函連絡船機関士になる。この頃夏はヨット冬はテレマークスキーに夢中となる。地元のユースホステル勤務中は、テレマークスキー世界選手権出場、ヨットでウラジオストックへ航海するなどの実績を残す。同時期、スキー、カヌーを使ったガイドツアーを開始し、30年に及ぶガイド経験を経て現在に至る。北海道アウトドア資格制度初年度にカヌーガイド資格取得。

◆申込方法

ご参加には申し込みが必要です。

右記のURLまたは二次元コードから応募フォームにアクセスの上、お申し込みください。

定員：50名(先着順) 参加費：無料 申込期限：2月5日(月) 15:00

※応募は定員になり次第締め切らせていただきます。

※ご参加にはおひとり様毎に事前の申込が必要です。



<https://www.harp.lg.jp/TSNZzHeh>